

「河川景観の形成と保全の考え方」参考資料

平成18年10月

国土交通省 河川局

「河川景観の形成と保全の考え方」(参考資料)

【目 次】

本手引きの活用にあたって

1章 「河川景観の形成と保全の考え方」の目的と構成	1-1
1.1 「河川景観の形成と保全の考え方」の目的	1-1
1.2 本手引き活用の場面	1-1
1.3 本手引きの構成	1-5

原論編

2章 河川景観を考える	2-1
2.1 河川景観とは	2-1
2.2 河川景観の特徴	2-3
2.3 河川景観デザインの心得	2-9
3章 河川景観の基礎知識	3-1
3.1 自然の営みがかたちづくった河川景観	3-1
3.2 人々の営みがかたちづくった河川景観	3-14
3.3 心的現象からみた河川景観	3-42
3.3.1 視覚で捉える河川景観	3-42
3.3.2 視覚以外で捉える河川景観	3-53

マネジメント編

4章 景観形成の仕組みづくり	4-1
4.1 流域における連携	4-1
4.1.1 景観形成における流域の連携の視点	4-1
4.1.2 まちづくりとの一体的な取り組み	4-2
4.1.3 河川周辺の景観資源の活用	4-19
4.1.4 景観法の活用	4-22
4.2 景観形成におけるパートナーシップ	4-28
4.2.1 パートナーシップの必要性	4-28
4.2.2 パートナーシップ推進の視点	4-29
4.2.3 パートナーシップの実現のために	4-31
4.3 景観形成における合意形成	4-40
4.3.1 景観形成における合意形成の考え方	4-40
4.3.2 さまざまな合意形成の手法	4-42
4.3.3 情報の共有	4-49
4.3.4 合意形成に向けた取り組みにおける視覚的表現手法の活用	4-51
5章 景観保全の仕組みづくり	5-1
5.1 河川空間利用による河川景観の魅力の向上	5-1
5.2 地域活動・地域コミュニティによる河川景観の魅力の向上	5-9
5.2.1 地域活動による河川景観の保全	5-9
5.2.2 民間活力の活用	5-13
5.2.3 河川文化の伝承	5-15
5.3 河川の維持管理と河川景観の保全	5-20
5.3.1 河川の維持管理の果たす役割	5-20

5.3.2 河川の維持管理における河川景観への配慮	5-21
5.4 河川敷地の占用や工作物の設置許可と河川景観の保全	5-26
5.4.1 河川敷地の占用の許可等の果たす役割	5-26
5.4.2 景観に配慮した河川敷地の占用の許可等の基本的な考え方	5-27
5.5 モニタリング	5-37
5.5.1 モニタリングの果たす役割	5-37
5.5.2 モニタリングの視点と手法	5-39
5.5.3 モニタリング結果の活用	5-42

デザイン編

6章 河川景観の調査と計画	6-1
6.1 河川景観の調査と計画の流れ	6-1
6.2 河川景観を読む	6-6
6.2.1 文献調査	6-8
6.2.2 現地調査	6-25
6.2.3 河川景観の特徴の整理	6-30
6.3 河川景観の目標を考える	6-39
6.3.1 河川景観の理想像を描く	6-40
6.3.2 河川景観の目標を設定する	6-45
6.3.3 重要景観区間の目標を設定する	6-48
6.4 河川景観の形成と保全の方策を考える	6-54
6.4.1 景観区分毎の景観の形成と保全の方策を検討する	6-55
6.4.2 重要景観区間における景観の形成と保全の方策を検討する	6-58
6.5 河川景観の形成と保全の方策を検証する	6-64
7章 骨格のデザイン	7-1
7.1 骨格のデザインとは	7-1
7.2 河川およびその周辺の空間構造に影響する要素への配慮	7-4
7.3 河川管理者が主体的に策定する河川関係の計画が景観形成に対して支配的な場合	7-7
7.4 河川周辺の土地利用やまちづくりのあり方が景観形成に対して支配的な場合	7-24
7.4.1 河川周辺の土地利用と河川景観	7-24
7.4.2 まちづくりのあり方と河川景観	7-30
7.4.3 水網のデザイン	7-45
7.5 災害復旧と河川景観	7-63
8章 場のデザイン	8-1
8.1 場のデザインとは	8-1
8.2 地域性と場のデザイン	8-4
8.3 都市空間と水辺のデザイン	8-62
8.4 拠点のデザイン	8-82
8.5 要素のデザイン	8-100

* 本手引きでいう「デザイン」とは、大きさや形状、色彩、素材等を整える設計のことだけを指すのではなく、河川景観に関する調査、計画、設計、施工の一連のプロセスを指すものとして用いている。